

The Learner

Doshisha International Academy Elementary School

October
ISSUE



October, 2021
Volume 116

豊かな人間性

文部科学省が掲げる「生きる力」には、「豊かな人間性」を育むことが大切だとされています。漠然とした表現ですが、なんとなく教育現場に馴染んだ言葉になっています。ある記事には、豊かな人間性を3つに分類し、①自分自身の内面が「誠実、謙虚、正直」、②周囲の人に対して「感謝する、尊重している、相手を理解し見下さない、自然体でどんな人とも触れ合う」、③生き方として「自分らしい生き方を選択している、どう選択をしても楽しくしている」と書かれていました。

DIAの正門で検温チェックをしています。子ども達の小さな行動に、この①②③を見つけられました。ある日、大きく太いミミズが舗装された場所にいました。低学年の子が可哀想だから土の所に戻してあげようと言出し(③)、でも正直なところ気持ち悪くてみんな触れず(①)、それを見た高学年の子が黙ってさっと運び(①)、低学年の子は笑顔で「ありがとう。」と言っていました(②)。他愛もないことですが、この小さな積み重ねが豊かな人間性につながるのだと感じました。そして、この小さな積み重ねをする為に、子ども達は学校に来ているのです。教室では、もっと多様な関わりや、人間性を育む場面がたくさんあります。漠然と生活しているとただ通り過ぎてしまう出来事ですが、時折、こうして子ども達を観察していると、学びの場は無限に広がっているなあ、と実感できます。

校祖新島襄も、幼少のころから家族や村人、自然や学問に触れ合う中で①②③を敏感に感じて、強く優しい前向きな人間性を身に付けていったのではないかと思います。「豊かな人間性」を育

む多岐に渡る体験、長い年月の鍛練、それらの蓄積によって内から滲み出る自信、それに惹きつけられる仲間、たくさんの要素が新島襄の人間性を作り上げていると言えます。DIAで子ども達が物事を考える時には、いつもLearner Profileが使われますが、人間性を考える時にはとても良い指標になっています。子ども達が「Caringにならないと!」「Principledを目指すねん。」等と言っている姿は、初めて見る人にはなんとも不思議に映るかもしれませんが、豊かな人間性を育むツールの1つになっていると実感しています。

今は、新型コロナウイルスの脅威、過激なナショナリズムに基づく主義主張の衝突、停滞が続く経済等、世界的な閉塞感に気持ちも沈みがちです。しかし、豊かな人間性を持っている人は、このような中でも明るく元気に生活し、自分ができることを前向きにとらえて生活しています。DIAを巣立った子ども達が、自分の人間性で周囲の人間を幸せに導けるようになってほしいと、心から思います。本年度、DIAは10周年を迎えるにあたり、ただ今、記念誌を作成しています(発行をお楽しみに!)。そこに卒業生が作文を寄稿していますが、皆等しくDIAを誇りに感じ、今の自分の原点であると書いています。DIAの教員として彼らの人生の一部に関わったことを大変嬉しく感じ、これからもここで精一杯教育に携わっていこうと思えました。歴代の卒業生に負けないよう、在校している子ども達も、豊かな人間性につながるベースを、小学生期で培ってほしいと願ってやみません。

学務幹事 岡田 智明





キリスト教 教育テーマ 10月：誠実 October: Honesty

「愛には恐れがありません。完全な愛は、恐れを締め出します。」

(ヨハネの手紙一 4章18節 聖書協会共同訳)

私が小学生の時に初めて出版された「モチモチの木」は、とても印象的な絵本でした。今なお人々に愛され、読み継がれている名作なのでご存じの方も多いと思いますが、改めて内容をご紹介します。

少年「豆太」は、猟師のお祖父さんと峠の一軒家で暮らしていました。妙に臆病な子どもで、5歳になっても夜中に一人で用を足すことができませんでした。それというのも、猟師小屋の前に立っている大きな木が夜中には真っ黒なお化けに見え、とても一人で外へ出る勇気が無かったからです。

しかしながらこの木は秋になると茶色く光る実をたくさん落とし、その実を臼で挽いて粉にしたものを蒸して食べると、大変美味しいのです。そこで豆太はこの木を「モチモチの木」と名付けました（栃の木がモデルになっていると言われています）。そればかりではなく、年に一度、霜月二十日の丑三つ時にはこの木に灯がともり、えもいわれぬ綺麗な光景を見せてくれると、言い伝えられていました。

ただ、この光景を見ることができるのは、たった一人の勇気ある子どもだけでした。豆太のお祖父さんもお父さんも勇気ある猟師で、子どもの頃、この大木に灯がともるのを見ていました。当然豆太も見たいと思いましたが「こんな冬の真夜中にモチモチの木をたった一人で見に出るなんて、自分には土台無理な話。」だと最初から諦めて、その日はいつもよりも早く寝てしまったのです。

ところが真夜中、熊の唸り声のような物音がして驚いて目を覚ますと、お祖父さんがお腹を抱えて唸りながら苦しんでいる姿がありました。「医者様を呼ばなくっちゃ！」と咄嗟に判断した豆太は、何も考えずに裸足のまま外へ飛び出し、麓の村目がけて走り出します。下りの坂道は真っ白い霜が降りており、足からは血が出ました。痛さと寒さと怖さのため、豆太は泣きながら走りますが、大好きなお祖父さんが死んでしまうことの方がもっと怖かったので、泣き泣き麓の医者まで辿り着いたのでした。

豆太から事情を聞いた医者「ねんねこの中に薬箱と豆太を背負い、峠道を上って行きました。今まさに小屋へ入ろうという時、豆太は世にも不思議な光景を見ます。それは、モチモチの木に灯がともっている姿でした。医者にとって、それは科学的に説明できる自然現象であり、特に興味を引くものではありませんでしたが、翌朝元気になったお祖父さんは豆太に言います。「おまえは、山の神さまの祭りを見たんだ。モチモチの木には灯が点いたんだ。おまえは一人で夜道を医者様呼びに行けるほど勇気のある子どもだったんだからな。自分で自分を弱虫だなんて思うな。人間、優しささえあれば、やらないきゃならねえことは、きっとやるもんだ。…」

私はこの物語を読んだ時、豆太の勇気は、例えば獲物を追いかけて岩から岩へ飛び移る離れ業をやったのけた彼のお祖父さんや、熊と組討ちして亡くなったという彼のお父さんが持っていた勇気とは、少し種類の違うものであると感じました。まだ幼くて自分一人ではお祖父さんを守ることができない豆太がしたことは、ただ自分のありったけの力を振り絞って医者様呼びに行き、その後も医者の指示通りに薪をくべたり湯を沸かしたりという手伝いだけでした。しかし、豆太はその年一番勇気のある子どもとして、モチモチの木に灯がともるところを見ることができたのです。

最近、豆太のように誰に知られずとも、勇気を持って行動した人の話を見聞きすることが多いのです。

「大いなる者」がご存じであれば、その勇気は思いがけぬ形で称賛され、報われるのではないのでしょうか。

(参考図書：「モチモチの木」 斎藤隆介・作、滝平二郎・絵 岩崎書店)

Christian Education Committee チャプレン 石川眞弓

<お知らせ>

・10月のおにぎり献金は、10月12日(火)です。

※感染症予防のため、献金は袋に入れてお子様にお持たせください。ご協力をよろしくお願い致します。



Grade 2 Unit 3 の取り組み

2年生は「私たちの選択は、健康や幸福に影響する」という Central Ideaのもと、Unit 3の探究を進めています。新型コロナウイルスの感染対策として休校措置をとり、オンライン授業で始まった、まずは Central Idea について考える時間をもちました。Central Idea で使われる言葉が難しいことも多いです。なので、分からない言葉の意味を調べ、自分の言葉に直して考えることで、子ども達の Central Idea の理解を図っています。オンラインの課題で提出されたものを見てみると、「私の選ぶことはわたしの健康や幸せにつながっている。」「健康や幸福でいるためには良いものを選び出さなければならない。」など、子ども達は自分の言葉で Central Idea の理解をしっかりと示すことができていました。

次に、Unit の Key Concept、Learner Profile、Approaches to Learning の紹介をしました。Unit 3 の Key Concept は Connection (つながり) と Responsibility (責任) です。Unit 1、2 でも登場した Key Concept で、子ども達はすぐに「影響ってことはつながりがあるってこと。」や「選んだら責任をとらなければならない。」など Central Idea との関係に気がきました。そして今年度、初登場の Learner Profile である Balanced と Reflective についても考えました。Balanced では「栄養バランスを考えて食べる人」や「自分だけでなく、周りの人のことも考えられる人」など、Central Idea と絡めて考えることができました。Reflective においては「振り返ることができる人」だけではなく、「自分の良いところや悪いところ気づくことができる人」、「深く考えることのできる人」と本来の Learner Profile に近い人物像を考えることができ、子ども達の Learner Profile の理解の深まりを感じた瞬間でした。そして最後に今 Unit の Approaches to Learning である Self-Management Skills について考えました。Self-Management Skills とはどのようなスキルのことかと問いかけてみると「時間を管理する。」「ルールを守る。」「安全な生活を送る。」など、自分の考えをしっかりとっていました。この Self-Management Skills には粗大運動技能、微細運動技能と体の動かし方についても含まれており、子ども達にとっては新たな発見のある時間となりました。Central Idea、Key Concept、Learner Profile、Approaches to Learning の理解が深まってから Unit の学習に入りました。まずは食生活について探究をしました。三色食品群について学ぶために「えいようせんたいしょくレンジャー」という本を読み、体をつくる赤レンジャー、体のエネルギーになる黄レンジャー、体の調子を整える緑レンジャーについてそれぞれの栄養素や役割について学習しました。そして、食事についての理解をさらに深めるために五大栄養素についても探究をしました。農林水産省の「子どもの食育」の資料を用いて授業を行い、自分の食事のバランスがどうなっているのかを見直しました。食事についてまとめを行った際には、「バランス良く食べる」や「よく噛んで食べる」など健康についてだけでなく、「楽しく食べる」や「感謝の気持ちを持って食べる」など幸せについても発言できていました。

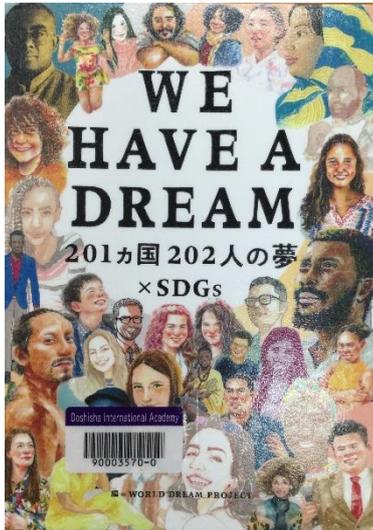
そして、今、2年生が取り組んでいるのが運動についてです。子ども達は授業で脈拍の取り方を学び、運動を、脈拍を通して探究しています。PE ともコラボレーションし、何かしらの活動を終えてすぐに自分の脈拍を測ることも行なっています。今後はさらに脈拍がどういったときに変化し、運動とどのように関係があるのかについて探究をしていきたいと思っています。

Unit 3 の Summative Assessment では子ども達に自分の生活習慣を振り返り、健康で幸せな生活を送ることができているかについて考えてもらいます。Unit がはじまってすぐの時点から、子ども達は毎日、Google Forms で生活習慣に関する質問に答える活動に取り組んでいます。バランスの良い食事を取れているか、運動ができているか、睡眠が取れているかなど今回の Unit で学習する内容を網羅した質問となっています。Summative Assessment では期間中に行った全ての回答を自分達で分析し、自分の生活習慣の問題を見つけ、それをどのように改善し、健康で幸せな生活習慣にするのかについてまとめます。Unit で学習した内容と自分の生活週間を比較し、子ども達がどこを問題として認識し、それをどのように改善するのかがとても楽しみです。



からのおしらせ

Unit 3 の学びから～SDGs と若者の夢～



6年生は Unit3 で SDGs をテーマに「地球的規模の問題は地球市民としてみんなで協力し、アクションを起こすことで解決する。」とのセントラルアイデアで学びを進めています。

これから子どもたちが生きていく社会は、日本だけでは解決できない問題が多々出てくるのが予測されています。例えば地球温暖化は、日本 1

国が頑張っても解消しません。またこのコロナ禍も、1 つの国の対策だけで収束に向かうものではありません。

こういった問題に直面すると暗い気持ちになってしまいがちですが、ここで是非読んでいただきたいのが「WE HAVE A DREAM 201 カ国 202 人の夢×SDGs」(WORLD DREAM PROJECT 編 いろは出版)です。

これは世界の「Z 世代」「ミレニアル世代」と言われる若者が自分の夢を語る本で、それらが SDGs の 17 の項目と絡めて紹介されています。彼らの夢を知ると、勇気が湧いてきます。そして、私たちも世界を”Better world”に替えていけるのだと確信します。これは IB の教育理念ともつながります。DIA の 6 年生はこの本を通じて SDGs を学ぶとともに、自分の夢について考えました。

DIA の図書館に寄贈されておりますので、是非手に取っていただければと思います(英語版もあります)。



10月の主な行事・予定

1	金	
2	土	
3	日	
4	月	Buffer week/
5	火	G1 参観日/ Open class
6	水	G6 参観日/ Open class 委員会活動/ Students' committee
7	木	G5 参観日/ Open class
8	金	G2 参観日/ Open class
9	土	
10	日	
11	月	Unit 4 Week 1 G4 参観日/ Open class
12	火	G3 参観日/ Open class
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	Unit 4 Week 2 G1, 2 Sports Day
19	火	G3, 4 Sports Day
20	水	G5, 6 Sports Day
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	Unit 4 Week 3 G1, 2 Sports Day (予備日)
26	火	G3, 4 Sports Day (予備日)
27	水	G5, 6 Sports Day (予備日) クラブ活動/ Club activity
28	木	
29	金	ハロウィーン/ Halloween
30	土	
31	日	

11月の主な行事・予定

11/2	避難訓練 / Evacuation Drill
11/19	10周年記念式典/ DIA 10th Anniversary Ceremony
11/26	点灯式/ Lighting ceremony (Online)
11/29	創立記念日/ Doshisha Foundation Day